

ばんえい十勝 10周年を記念して

帯広市長 米沢 則寿

平成十九年四月、道内四市を拠点に実施されていたばんえい競馬が、北海道市営競馬組合の解散を機に、帯広市単独開催となり、「ばんえい十勝」として、全国のファンの皆様に支えられながら、十年を迎えることができましたことを、感謝申し上げます。

開幕当初から現在に至るまで、売り上げの低迷などにより、存続の危機に直面した時期もありましたが、今もばんえい競馬を開催することが出来るのは、地域の皆様のご理解と、全国のばんえい競馬ファンの皆様をはじめ、多くの方々のご支援、ご協力があったからこそであります。そして、この十年間、私たちは、時代背景も大きく移り変わる中、世界で唯一のばんえい競馬を残していくためにはどうするべき

か、時代の変化に順応すべく、創意工夫を重ねてまいりました。始めは手探りでしたが、先人達が遺していった意思を引き継ぎ、努力を重ね、現在のばんえい十勝を築くまでに至りました。

ばんえい十勝はこれまで、多くの地元企業・団体からのご協力を賜り、様々なイベントを通じて地域に貢献し、帯広そして十勝の観光資源として、活気溢れる競馬場作りを目指してまいりました。

また、北海道開拓の歴史を今に繋ぐ重要な文化の一つとしての役割を担っており、ばんえい競馬があることで継承される馬文化や技術、これらを後世へと伝えていくためにも、関係者一同、ばんえい競馬存続に努めなくてはなりません。しかし、過去には禁止薬物の陽性反応の検出、きゅう舎地区内での暴行事件、さらには競馬関係者が勝馬投票券を購入し、競馬法違反を犯すなど、再三に渡り、応援してくださるばんえい競馬ファンの皆様の信頼を裏切る事案が起きてしまい、誠に遺憾に存じます。公営競技である以上、「公正な競馬」であることは当然であり、二

度とこのような事案を起こさぬよう、関係者一丸となり、再発防止に取り組んでまいりました。そのような中、多くのばんえい競馬ファンの皆様から、応援のお手紙や、激励のお言葉を頂き、大変ありがたく、そのひとつひとつが、私たち関係者を支え、励みとなりました。

これからも、ばんえい競馬を後世に残していくため、公正確保に努め、より一層の再発防止策を講じるなどの取り組みを進めていく所存であります。

最後になりますが、十年間を通じて、ばんえい競馬と関わり、ご尽力頂いたすべての皆様に対しまして、心より感謝申し上げます。これからも、ばんえい十勝は、ばん馬のように、一步一步、力強く、皆様とともに歩んでいきたいと願っております。時には平坦な道ではなく、越え難い大きな障害にぶつかることもあるかもしれませんが、関係者一同、ばんえい競馬存続のため、全力を尽くしてまいりますので、これからも、変わらぬご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

